



2021年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月12日

上場会社名 日機装株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6376 URL <https://www.nikkiso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甲斐 敏彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 小糸 晋 TEL 03(3443)3711
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 2021年9月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	77,578	3.7	3,584	△13.9	4,120	6.7	858	△71.1	754	△73.5	6,737	174.3
2020年12月期第2四半期	74,833	△5.2	4,162	17.0	3,863	28.8	2,970	48.2	2,844	49.3	2,456	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	10.59	10.58
2020年12月期第2四半期	39.93	39.88

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	290,161	94,135	92,204	31.8
2020年12月期	272,894	88,179	86,322	31.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年12月期	—	10.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	174,500	10.1	9,000	△12.0	8,700	△3.8	4,700	△28.4	65.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積もりの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	74,286,464株	2020年12月期	74,286,464株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	3,038,428株	2020年12月期	3,038,263株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	71,248,119株	2020年12月期2Q	71,233,766株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 決算成績の概況

2021年第2四半期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依然として厳しい状況にあります。ワクチン接種が進んできたことで経済活動が徐々に再開されてきた一方で、新規感染者数が再び増加に転じたことに加え、世界的な半導体の供給不足の影響などもあり、全体として先行きに対する不透明感が高まる中で推移しました。工業部門では、インダストリアル事業は世界的な経済活動が持ち直してきたことを受けて産業ガスやLNG向け設備投資が動き始めており、海洋環境規制の高まりを背景とした船舶向けLNG燃料供給システムの受注が大幅に拡大しています。一方、航空宇宙事業は人の移動の再開に伴い民間航空機需要が回復し始めてきたことで製品出荷は徐々に回復する兆しが見えてきましたが、コロナ禍前の業績水準までの回復には今暫くの時間を要する見通しです。医療部門では、国内の血液透析装置の需要が引き続き活発に推移し、海外市場でも装置需要の回復が見られることから、前年同期比で売上収益が増加しています。

当第2四半期連結累計期間において、当社の連結子会社に対する法人所得税について、税務当局からの更正による追徴請求を受けたことに伴い、1,726百万円を法人所得税費用として計上したため、親会社の所有者に帰属する四半期利益が減少しました。当社グループとしては審査請求を含め正当性を主張してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績は、受注高 94,055百万円（前年同期比22.0%増）、売上収益 77,578百万円（同3.7%増）、営業利益 3,584百万円（同13.9%減）、税引前利益 4,120百万円（同6.7%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益 754百万円（同73.5%減）となりました。

② セグメント別の状況

(単位：百万円)

	2020年12月期 第2四半期実績	2021年12月期 第2四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	77,108	94,055	+16,946	+22.0%
工業部門	45,080	57,789	+12,709	+28.2%
インダストリアル事業	39,414	51,651	+12,237	+31.0%
航空宇宙事業	5,323	4,092	△1,231	△23.1%
医療部門	32,079	37,433	+5,354	+16.7%
売上収益	74,833	77,578	+2,745	+3.7%
工業部門	43,563	43,458	△105	△0.2%
インダストリアル事業	37,890	37,091	△798	△2.1%
航空宇宙事業	5,398	4,286	△1,112	△20.6%
医療部門	31,320	35,463	+4,143	+13.2%
セグメント利益	4,162	3,584	△578	△13.9%
工業部門	2,829	2,190	△639	△22.6%
医療部門	3,148	3,406	+258	+8.2%
調整額（全社費用等）	△1,836	△1,891	△54	—
税引前四半期利益	3,863	4,120	+257	+6.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,844	754	△2,089	△73.5%

※ 工業部門合計欄には、深紫外線LED事業の金額が含まれています。

※ 医療部門には、ヘルスケア事業の金額が含まれています。

※ セグメント間取引の増加に伴い、セグメント業績をより適切に示すために、セグメントごとの各金額欄には、内部取引控除前の金額を表示しています。

《工業部門》

＜インダストリアル事業＞

コロナ禍後を見据えた世界的な経済活動の再開の流れの中で、エネルギー業界の設備投資意欲が回復傾向にあり、海外からの受注、引合いが活発となってきました。

米国のCryogenic Industriesグループを中核とする産業ガス・LNG関連事業のClean Energy & Industrial Gasグループ（CE&IGグループ）は足元では新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるLNG関連施設プロジェクトの延期や見直し等もあり前年同期比で減収減益となりましたが、脱炭素社会への移行に向けた取組みが世界的に加速している中、LNGは移行エネルギーとして中長期的な需要は底堅く、また海洋における環境規制の強化を受けLNG動力船・運搬船向け受注が大きく拡大しています。一方、石油化学関連市場を強みとするLEWA社は、従来、原油・ガス採掘など上流分野を強みとしていましたが、下流分野やアフターセールスの強化など事業ポートフォリオの転換なども奏功し、足元では上流分野向け受注の落ち込みを下流分野となる石油化学市場の好調や、アフターセールス事業の伸長が下支えし、LEWA社全体では概ね前年同期並みで推移しました。

インダストリアル事業全体では、市場環境の好転から受注額は大きく拡大していますが、宮崎インダストリアル工場稼働に伴う減価償却費等経費の増加が影響し減収減益となりました。その他、電子部品製造機器事業は、5G関連、電気自動車向け需要は右肩上がり伸長しており、MLCC向け装置の受注は好調に推移しています。

（※Clean Energy & Industrial Gasグループ（CE&IGグループ）とは、2021年4月1日にCryogenic IndustriesグループがLNG向け大型クライオジェニックポンプを扱う米国ラスベガスの当社連結子会社Nikkiso Cryo, Inc. を子会社化、組織改編し、グループとしての呼称を命名したものです。）

＜航空宇宙事業＞

新型コロナウイルス感染症による移動制限の長期化に伴い航空機需要が減退していますが、足元では世界的にワクチン接種が進み人の移動の再開とともに航空機需要も回復の兆しが見えてきました。しかしながら顧客在庫が過剰となっていることもあり、部品製造の回復までは時間を要すると見込まれ、事業環境は依然厳しい状況が続くものと見ています。

こうした厳しい環境の中、当社グループでは既存の航空機部品製造にとどまらず、航空機メーカーと共同で次世代機用の材料や製法開発を進めるとともに、次世代交通手段eVTOLや水素を燃料とする航空機の実用化といった新市場創出へ向けた取組みも開始しています。

今後、2021年度中には国内の生産機能を宮崎に完全集約するなどコスト削減や生産効率化を進め収益力改善を目指すとともに、将来の需要回復を見据えた研究開発の推進、宮崎・ベトナムにおける生産体制の再構築等事業体質の強化を図っていきます。

以上の結果、工業部門の受注高は57,789百万円（前年同期比28.2%増）、売上収益は43,458百万円（同0.2%減）、セグメント利益は2,190百万円（同22.6%減）となりました。

《医療部門》

＜メディカル事業＞

メディカル事業は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、国内外ともに医療機関の訪問制限が厳しく営業活動の制約を受けています。そうした中、国内血液透析市場においては、2019年から販売している主力の高機能血液透析装置の評価が高く、また感染症対策として病室や個室での透析治療の需要が急速に高まったこともあって装置販売が好調に推移しました。また、当社血液透析装置との組み合わせで付加価値を提供できる血液回路や粉末型人工腎臓透析用剤など消耗品の販売も堅調です。海外市場では、新型コロナウイルス感染症拡大による市場悪化からの回復が見られる欧州、アジアにおいて血液透析装置の需要が戻り始めており、前年同期比で販売が増加しました。国内・海外市場ともに当第1四半期の好調を継続し売上収益は着実に拡大していますが、各国許認可対応費用など諸経費が一時的に増加する結果となりました。

CRRT（急性血液浄化療法）事業は、新型コロナウイルス感染症による急性腎障害対応へのニーズの高まりを受け、主力の中国市場における装置販売が堅調に推移した他、消耗品販売が伸長し、前年同期並みの業績を確保しました。

深紫外線LED技術を活用したヘルスケア事業は、製品ラインアップ拡充を図るとともに海外市場展開に向けた準備を進めています。当第2四半期連結累計期間においては、他社類似製品も多く競争環境が激化しているため、当初計画に比し売上収益が伸び悩む結果となりましたが、多様な業界の大手事業者からの応用開発の引合いなど需要は継続しており、引き続き当社深紫外線LED技術の優位性を

市場に訴求、浸透させていくための取組みを着実に続けてまいります。

以上の結果、医療部門の受注高は37,433百万円（前年同期比16.7%増）、売上収益は35,463百万円（同13.2%増）、セグメント利益は3,406百万円（同8.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は290,161百万円となり、前連結会計年度末に比べて17,266百万円増加しました。有形固定資産の増加が主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は196,026百万円となり、前連結会計年度末に比べて11,310百万円増加しました。借入金の増加が主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は94,135百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,955百万円増加しました。在外営業活動体の換算差額の影響が主な要因です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、工業部門では、インダストリアル事業におけるLNG船向け大型受注など市場環境の好転により受注額が想定以上に好調に推移していますが、売上収益、営業利益は概ね計画通りに進捗しています。一方、医療部門では、血液透析関連事業が国内外で堅調な推移を見せる一方で、ヘルスケア事業については当初計画から下振れる結果となりました。当第3四半期以降も半導体の調達リスク、部材の価格高騰リスクなど当社を取り巻く事業環境は予断を許さない情勢が続くと見込んでいます。これら事業の動向の他、事業基盤強化の一環として現在進めている新メディカル技術センター設立に係る既存設備の解体・除却など非経常の支出、および業績予想の前提となる為替レートの変更（米ドルは105円から109円に、ユーロは125円から129円に変更）を踏まえ、売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益を修正いたします。

事業環境の不確実性が増す中ではありますが、来年度以降の成長に向けた各種取組みは順調に進展していると見ています。ヘルスケア事業においては、装置単体の販売にとどまらず、中長期的な観点から当社深紫外線LEDの技術・機能を設備に組み込むなど事業者との協業による応用開発を重視する方針をとっています。将来、社会インフラの様々な場面で活用される機能としていくことを目標として当事業を育成してまいります。その他主要3事業についても、それぞれが新たな市場創出に向けた取組みを進めており、現在推進中の中期経営計画「Nikkiso 2025」の達成を目指してまいります。

2021年12月期通期連結業績予想の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	184,000	10,500	9,400	6,800	95.44
今回修正予想 (B)	174,500	9,000	8,700	4,700	65.97
増減額 (B-A)	△9,500	△1,500	△700	△2,100	
増減率 (%)	△5.2	△14.3	△7.4	△30.9	
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	158,542	10,229	9,045	6,560	92.08

※ 次期業績見通しの前提としている為替レートは、109円/米ドル、129円/ユーロです。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	28,570	30,487
営業債権及びその他の債権	51,467	49,199
その他の短期金融資産	487	503
たな卸資産	40,300	45,309
未収還付法人所得税	421	341
その他の流動資産	3,314	5,182
流動資産合計	124,562	131,024
非流動資産		
有形固定資産	48,480	55,032
のれん及び無形資産	59,090	61,555
使用権資産	15,471	16,912
持分法で会計処理されている投資	3,269	3,121
長期金融資産	17,763	18,177
繰延税金資産	3,650	3,799
その他の非流動資産	605	537
非流動資産合計	148,332	159,136
資産合計	272,894	290,161

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期借入金	20,992	35,415
営業債務及びその他の債務	26,769	26,258
リース負債	2,359	2,703
その他の短期金融負債	790	944
未払法人所得税等	1,094	3,436
引当金	1,263	1,406
その他の流動負債	14,063	16,285
流動負債合計	67,333	86,451
非流動負債		
長期借入金	96,588	88,111
リース負債	12,332	13,382
その他の長期金融負債	1,402	873
退職給付に係る負債	3,028	3,030
引当金	265	284
繰延税金負債	3,687	3,815
その他の非流動負債	77	77
非流動負債合計	117,381	109,575
負債合計	184,715	196,026
資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	10,976	10,976
自己株式	△2,495	△2,495
その他の資本の構成要素	794	6,635
利益剰余金	70,501	70,543
親会社の所有者に帰属する持分	86,322	92,204
非支配持分	1,856	1,930
資本合計	88,179	94,135
負債及び資本合計	272,894	290,161

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	74,833	77,578
売上原価	△50,384	△51,588
売上総利益	24,448	25,990
販売費及び一般管理費	△21,025	△23,150
その他の収益	835	1,030
その他の費用	△96	△286
営業利益	4,162	3,584
金融収益	279	1,143
金融費用	△592	△520
持分法による投資損益（△は損失）	13	△86
税引前四半期利益	3,863	4,120
法人所得税費用	△893	△3,262
四半期利益	2,970	858
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,844	754
非支配持分	125	103
四半期利益	2,970	858
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	39.93	10.59
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	39.88	10.58

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	2,970	858
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産	1,234	273
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
合計	1,236	271
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,675	5,134
キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	△37	159
持分法適用会社に対する持分相当額	△37	313
合計	△1,750	5,608
税引後その他の包括利益	△514	5,879
四半期包括利益	2,456	6,737
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,396	6,594
非支配持分	59	142
四半期包括利益	2,456	6,737

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2020年1月1日	6,544	11,001	△2,519	5,233	△3,108
四半期利益					
その他の包括利益				1,236	△1,647
四半期包括利益合計	—	—	—	1,236	△1,647
自己株式の取得			△0		
自己株式の処分		6	24		
配当金					
株式に基づく報酬取引		△30			
利益剰余金への振替				△25	
所有者との取引額等合計	—	△24	24	△25	—
2020年6月30日	6,544	10,976	△2,494	6,443	△4,755

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2020年1月1日	△677	1,447	65,063	81,537	1,875	83,413
四半期利益			2,844	2,844	125	2,970
その他の包括利益	△37	△448		△448	△65	△514
四半期包括利益合計	△37	△448	2,844	2,396	59	2,456
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の処分				30		30
配当金			△712	△712	△64	△777
株式に基づく報酬取引				△30		△30
利益剰余金への振替		△25	25	—		—
所有者との取引額等合計	—	△25	△686	△712	△64	△777
2020年6月30日	△714	973	67,222	83,221	1,870	85,092

当第2四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2021年1月1日	6,544	10,976	△2,495	7,162	△5,549
四半期利益					
その他の包括利益				271	5,408
四半期包括利益合計	—	—	—	271	5,408
自己株式の取得			△0		
配当金					
所有者との取引額等合計	—	—	△0	—	—
2021年6月30日	6,544	10,976	△2,495	7,434	△140

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2021年1月1日	△818	794	70,501	86,322	1,856	88,179
四半期利益			754	754	103	858
その他の包括利益	159	5,840		5,840	39	5,879
四半期包括利益合計	159	5,840	754	6,594	142	6,737
自己株式の取得				△0		△0
配当金			△712	△712	△69	△781
所有者との取引額等合計	—	—	△712	△712	△69	△781
2021年6月30日	△658	6,635	70,543	92,204	1,930	94,135

（4）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（重要な後発事象）
該当事項はありません。